

ともしえ

2009

8

No.320



CONTENTS

巻頭特集 函館開港150周年記念特集
イギリス イザベラ・バード「日本紀行」より

- ◆ 会員企業ご紹介 P10
- ◆ 街の元気・情報交差点 P14

函館商工会議所ホームページ

<http://www.hakodate.cci.or.jp/>



Consulate Bridal

宗教によらない自由な形の結婚式です。
函館市旧イギリス領事館で交わす
調印式をイメージするお二人の将来を約束する誓いは、
きっとドラマチックな思い出となることでしょう。



おふたりにいちばん近い方々に囲まれながら、領事館を訪れる方々の賑わいのなかで、出発を祝うコンサレートウェディング。

外国旅行での経験や映画のシーンを想い出すチョットおしゃれなウェディングセレモニーです。



挙式の後のご会食は館内レストランで…。



ガーデンでの挙式(5月~10月上旬)

館内での挙式(10月~12月、1月~4月)

コンサレートウェディングプラン

¥150,000(税別)

(挙式料・衣裳・美容・着付・写真)

領事館結婚式

函館市旧イギリス領事館

Old British Consulate of Hakodate

函館市元町33番14号

TEL.0138(27)8169(ブライダル直通)

ともえ

8月号
(通巻320号)

2 特集

4 会議所のうごき

8 中小企業相談所だより

10 会員企業ご紹介

12 新幹線情報

13 健康情報

14 街の元気・情報交差点

15 ご案内

16 観光コンベンション情報

広告掲載企業

北海道中小企業再生支援協議会
(社)函館国際観光コンベンション協会
(株)テーオー小笠原
(業)英知国際特許事務所
新現役チャレンジ支援北海道事務局
中小企業基盤整備機構
函館空港ビルディング(株)
(株)ブレーン
龍文堂印刷(株)
函館市選挙管理委員会
函館市経済部

裏表紙
表紙裏
裏表紙裏
段下
段下
段下
段下
段下
段下
折込
折込

◆今月の表紙「函館乗合自動車株式会社路線鳥瞰図」

吉田 初三郎 画 1950年(昭和25年) 500×175mm
バスの路線鳥瞰図で、路線沿いの道南の景勝地を詳細に描いた作品

(函館市中央図書館所蔵)



視点

去る7月3日、「函館マリンバイオクラスター」が、文部科学省の「グローバル拠点育成型知的クラスター創成事業」に採択された。

と言っても横文字ばかりでピンとこないのだが、この事業は、地域産業の競争力の強化や新産業の創出等を目指して、産学官の連携活動等が行われてきた地域において、地域の自立化を促進しつつ、国際的に強み・特徴のある研究ポテンシャルや技術的にコアとなるシーズを生かし、グローバルな展開を図ることで、国際競争力を待った地域クラスターの育成を推進しようというものである。

函館地域は、水産・海洋の分野で恵まれた自然環境を有し、裾野の広い産業の集積や北海道大学大学院水産科学研究院、公立はこだて未来大学をはじめとする学術・試験研究機関が立地している。本年4月には、函館国際水産・海洋都市構想を具体的に推進していくための「一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構」を設立したこともあり、この度の採択は、海洋資源に関する幅広い研究や多くの事業創出を図る上でも一段と弾みがつくものと考えられる。

因に文部科学省からの資金投入は、今年度から5年間に亘り、毎年3億円程度、総額15億円が予定されており、財団法人函館地域産業振興財団を中核機関として、研究開発テーマを定め取り組むこととしている。

三方を海に囲まれた函館市は、今年開港150周年、その記念すべき年に、また海をベースにした新たな分野において産学官がこれまで以上に連携し、函館の水産・海洋を大きく飛翔させていくことが大切である。



函館開港150周年 記念特集

～外国人が見た当時のほこだて～



第4回 イギリス イザベラ・バード「日本紀行」より

◆横浜埠頭に降り立つ

維新直後の明治11年（1878）春、知的な瞳を輝かせたひとりのイギリス人女性が、遠くサンフランシスコから着岸した汽船を降りて、横浜埠頭に立ちました。47歳の旅行家イザベラ・バードであります。

イギリスのヨークシアで牧師の長女として誕生した彼女は、脊椎の病気のため、病弱な幼少時代を過ごしましたが、23歳の時、医師から航海することをすすめられ、最初に旅をしたのがカナダとアメリカでした。しかし、これはほんの足ならしにしかすぎませんでした。イザベラ・バードの本格的な旅行のスタートは中年近くなってからはじまったのです。

明治11年、日本に旅することを決意し、アメリカを経由して5月に上海に到着し、引続き横浜に向い上陸しました。彼女の記録を見ますと、横浜ではオリエンタルホテルに2日間宿泊し、汽車で東京に出て英国公使館に滞在します。旅行好きな彼女にとって都会での生活は我慢出来るものではなく、日本で最も外国人に知られていない北国への旅行を決心します。この時代、外国人はまだ日本国内を自由に旅することは出来ませんでしたので、まさに大胆な行動でありました。



▲旧イギリス領事館に飾られたイギリス領事ユースデンの像

彼女は18歳の伊藤という青年を同行者として雇いますが、彼は従者兼通訳となり、さらに料理番兼洗濯屋となってイザベラ・バードに仕えます。伊藤がいなければ数か月に亘る北国への奥地旅行は実現しなかったかも知れません。

二人は、東京を出発し、日光～米沢～会津～新

潟～山形～新庄～横手～秋田～青森を経て、この年8月函館に入ります。この旅の記録を詳細に記したのが『日本紀行』であります。



▲講談社発行の「日本紀行」

◆イザベラ・バードの見た函館

「北の開港場である函館は人口3万7,000人の繁栄する都市で、どの方向の風からも守られたすばらしい港があり、当然のことながら中心地となっている。砂礫層の丘陵斜面にあり、日照がよく、また天然の排水もすばらしく、横浜や東京の蒸し暑さで消耗した体力を補充するには最適である。」

「函館は外国貿易港としては年々落ち込みつつある。事実、外国貿易はゼロにまで減少しつつある。外国の商会はふたつしかなく、外国人移住者は清国人をのぞいて37人しかいない。毎年夏に多数入港する戦艦と健康を害して訪れるわずかな滞在客がなければ、活気のなさは新潟とほぼ同じくらいになるだろう。しかし日本国内向けの港としてはますます繁栄している。あらゆる港で交易できる日本の蒸気船がこれほど増えた現在では、外国船がこの一港をめざしてかくも遠くまで来るのは無益なことである」



▲旧イギリス領事館から市内を望む

イザベラ・バードが来函したこの年の函館は、1月7日に北海道最初の新聞となる「函館新聞」が北溟社より発行されたり、シャトル聖パウロ修

道女会からフランス人修道女3人の派遣をはじめ、東大理学部教授アメリカ人モースやイギリス人ジョンミルンの来函、イギリス軍艦アデジュース号、マクパチ号の入港、イギリス・プロテスタント礼拝堂（函館聖公会）の開場式が行われるなど、開港都市ならではの動きが見られますが、彼女は実につぶさに函館の様子をとらえています。

「役所の建物は非常に大きく、病院と監獄は現地人のみごとな管理の下にある。函館は遠隔地にあるのに、わたしには同規模のほかのどの都市と比べても、運営、設備全般、清潔さ、秩序において遅れているようには見えない。開拓史は市内に17の学校を持ち、そこでは生徒たちが読み書き、分算までの算数、さらに世界史と地理を学んでいる。」

「郵便局と税関は日本人官吏により外国の慣例に合わせて手際よく運営されている。司法局にはあまり感心しないものの、警察は非常に有能で、英国領事が“いかなる泥棒や犯罪者も当局の警戒から逃れられない”と公式に報告しているほどである！日本の船大工は外国製艦装の小型スクーター船を設計・製作している。また日本の商人は衣料、食料、金物、陶器、ガラス、小間物、アルコール飲料などの外国製品を輸入しており、外国商店がないという気がほとんどしないくらいである。」

「函館は北海道の伝道活動の拠点で、現在ギリシャ正教会、ローマ・カトリック教会、英国聖公会宣教協会、米国メソジスト監督教会が伝道師を置いているが、正規の通行証を所得しないかぎり、もちろん活動は25マイルという条件で取り決められた距離の範囲に制限されている。」



▲現在の旧イギリス領事館

◆アイヌ民族の生活を見て再び函館へ

イザベラ・バードの北海道旅行の大きな目的のひとつは、アイヌ民族に対する関心から日本の先住民であるアイヌの生活を詳しく見つめてみたいということにありました。彼女は、函館を出発し、森、室蘭を経て幌別、白老、苫小牧、湧別、佐瑠太、平取、紋別と足をを進め、アイヌ部落を訪問し、生

活を共にしながら、その生活模様を事細かく観察記録して再び函館に戻ってまいります。

「函館での週ごとの説教を二度、聖書の講義を三度行う以外に、七重に新しい支所を開こうとしています。七重はたくさんの士族^{サムライ}がいて、改宗してきたのは宗教的本能や宗教的な疑問を感じる精神のまったく絶えてしまったように思える庶民ではなく、このサムライたちなのです。私たちがこちらに戻ってきてから、英国領事のユースデン氏により英国聖公会の協会の礎石が据えられました。日本人改宗者8人とその他数人がこの行事に出席し、8人の名が礎石に刻まれました。」

函館での最後の日（9月14日）のことを次の様に記しております。

「きょうは蝦夷地ですごく最後の日です。吹きさらしの灰色の都にまぶしく輝く太陽がピンク色をした駒ヶ岳の山頂をさらに濃い赤に染め、わたしがこの町から受ける最後の印象を輝かせています。そして最後の印象は最初と同じくとても快いものなのです。湾は濃い青で、紫色の影をまだらに浮かべ、60隻ほどの帆掛け船が錨を下ろしてゆらゆらと漂っています。外国の艦装船もあるものの、動きもなく浮かんでいたり大きな白い帆を上げて港に入ってきたりする、ほのかで青白い帆掛け船は、江戸湾ではじめてこれを見たときと同じようにわたしを魅了します。古めかしくて美しいのですが、荒海と格闘するより絵に趣を与えるほうが似合っています。」

東京へ戻ったイザベラ・バードは同年12月に香港へ向い、帰国したあとも世界各国を歩き続け数々の紀行本を出版し、72歳で病没しました。

この度取り上げた『日本紀行』では、イザベラ・バードの見た函館の様子しか紹介しておりませんが、アイヌの研究文献としても貴重な著書であるばかりか、明治新政府が明治2年に開拓使を設置し、北海道の開拓が年次計画のもと本格的に着手して間もない時代の北海道の様子を知る上でも、また外国人の見た歴史書としても興味深いものがあります。



▲アイヌの家族（日本人のスケッチより）



▲シノンディとシンリチ

- 参考文献 『イザベラ・バードの日本紀行』（下巻、時岡敬子訳 平成20年6月10日、講談社発行）
『日本奥地紀行』（イザベラ・バード著、高梨健吉訳 平成12年2月15日 平凡社発行）
『イザベラ・バード極東の旅1』（金板清則訳 平成17年6月8日 平凡社発行）
『函館市史年表編』（平成19年2月28日 函館市発行）

会議所の うごき

第59回 全道商工会議所大会開催

北海道商工会議所連合会主催による第59回全道商工会議所大会を去る7月10日～11日の両日、函館市において開催しました。本大会には全道42商工会議所の役員・議員・職員さらには、北海道知事・北海道経済産業局長をはじめとする多数の来賓など合わせて500余人が参加しました。

本大会では、主催者の高向道商連会頭のご挨拶に続き、高野会頭から歓迎を含めた挨拶のあと、各地商工会議所から提出された景気対策・税制対策・中小企業対策など、25項目にわたる議案およびWTO農業交渉と日豪EPA交渉の日本提案の実現など特別提案2項目が協議され、満場一致で承認されました。

また、前日開催の懇親会の間を借りて実施され

た道産酒の消費拡大を目指す酒チェン運動を受け、本大会の中で積極的に道産酒を飲むことが提案され、参加者全員「酒チェン」運動の展開を高々に宣言いたしました。



▲冒頭、挨拶する高野会頭

第23回観光フォーラムinはこだて開催

函館市、本所、(社)函館地方法人会青年部会、(社)函館青年会議所の主催による「観光フォーラムinはこだて」を去る7月6日、花びしホテルにおいて開催しました。

当日は2部構成でのフォーラムとし、第1部では、観光庁長官の本保芳明氏を講師に迎え、「観光立国と地域振興策について」と題しての基調講演が行われました。

また、第2部では、「地域がつくる函館観光」と題したパネルディスカッションが行われ、今後の当

地域の課題や将来のまちづくりについて熱い論議が交わされました。



▲多くの市民が詰めかけた観光フォーラムの様子

議員異動のお知らせ

★職務を行う者の変更

◎3号議員 (平成21年6月29日付) 北海道瓦斯(株)函館支店 (新) 梅村卓司 (旧) 伊藤広路

◎1号議員 (平成21年6月30日付) (株)函館国際ホテル (新) 中村由紀夫 (旧) 岡田要

(敬称略)

函館開港150周年記念式典開催

函館開港150周年記念式典が去る7月1日、函館市民会館において、西尾市長、高野会頭をはじめ各界から多数の来賓が出席し、盛大に開催されました。

式典では、再開港のメッセージが込められ、市内中学生4名が参加しての熱演した演劇や、小林亜星さんが作詞作曲を手掛けた記念ソングを市民220名で合唱するなど、函館の歴史を思い、そして未来の函館の発展を誓い合いました。

また、式典終了後に花びしホテルにおいて、500名が参加しての祝賀会が行われ、祝福ムードのなか、盛会裡に終了しました。



▲記念ソング「あれからそして今」を熱唱する市民

第62回函館地区珠算競技大会・全国暗算コンクール記録会開催

第62回函館地区珠算競技大会並びに、2009年全国暗算コンクール記録会を去る7月12日、本所会議室において開催しました。

本地区大会では、59名の選手がそれぞれの部門に分かれ「個人競技」「読上暗算」「読上算」の3つの競技で競い合いました。

小学校5・6年生の部では、齋藤淳之介君（道教大附属函館小）が全ての競技で優勝し、3冠を達成して「そろばん小学生函館一」に輝いたほか、「そろばん函館一」には山本梢太さん（北斗市役所）が、「そろばん中学生函館一」には梅田真衣さん

（函館市立港中）が、それぞれ決定し、個人競技「小学校4年生以下の部」では飯田悠介君（道教大附属函館小）が優勝しました。

本大会は、今年9月13日に函館市において開催される第67回全道珠算競技大会の予選を兼ねており、上位入賞者をはじめ、多数の選手が出場する予定です。

また、大会に先立ち開催されたコンクール記録会では、各部門優勝者11名により競技が行われました。

第38回観光土産品試買検査会開催

第38回観光土産品試買検査会（本所事務局）を去る7月29日、本所会議室において開催しました。

本検査会は、観光土産品の表示に関する公正競争規約の周知徹底並びに土産品の品質向上を図ることを目的として毎年開催しているものです。

当日は、函館駅前や五稜郭、大沼公園など市内及び近郊の主要観光地で販売されている観光土産品を無作為に購入したもので、農水産品30点、菓子20点に関し、「必要表示事項」や「過大包装の禁止」「不当表示の禁止」などについて10人の審査委員による厳正なる審査が行われました。

その結果、一部商品については、表示等に関する不備がみられたことから、今後これら商品の製造元（販売者等）に対し、事務局より改善要望していくこととしています。



▲厳正に審査をする審査委員

会議所のうごき

函館港まつり開催

本所・函館市・函館国際観光コンベンション協会の共催による開港150周年記念函館港まつりを、去る8月1日～4日の日程で開催しました。

今年の港まつりは、連日多くの参加者や観客が会場に詰め掛け盛大に開催されました。1日は箱館開港パレード・開会式・道新花火大会。2日と3日の両日はワッショイはこだてが大門・五稜郭地区でそれぞれ行われ、踊りの熱気や観客の歓声で街全体が盛り上がりを見せました。

また、4日には函館ミュージック・ハイ、歩行者天国、YOSAKOI函館フェスタなどが行われ、最終日にもかかわらず多くの来場者を集めました。こうして函館最大の祭りは終始盛り上がりを見せ、盛会裡に終了しました。



▲2日に行われたワッショイはこだて

議員会

毎年、函館市と青森市において交互に開催している青函商工会議所議員会交流会を去る7月6日、本市において開催しました。

天候にも恵まれた当日は、青森側から出戸端副会長はじめ9名、函館側からは堀川会長ほか18名が参加して親睦ゴルフコンペで交流を深めたほか、この後開催された懇親会には、高野会頭も参加し、

目前に迫った東北新幹線新青森駅開業を起爆剤として、今後更なる経済交流の発展を確認し、盛会のうちに終了しました。



▲晴天のなか行われた親睦ゴルフコンペ

女性会

7月例会を去る7月22日、斉藤会長をはじめ20名が参加し開催しました。

当日は五稜郭タワー旬花において昼食懇談会を開き、その後、北海道立函館美術館で、現在公開されている「開港150周年記念 箱館～函館ビジュアル時間旅行」を学芸員の説明を受けてから、見学しました。

展覧会では、開港から大正、昭和そして現代までの、150年にわたる函館の街の移り変わりやハコダテを舞台にした作品、イメージを多彩なジャンルで紹介しており、参加者は歴史を学び、思い出を懐かしみながら盛会裡に終了しました。



▲北海道立函館美術館にて

青年部

メンバーが交流を深め、今後の全体事業の積極的な活動に繋げることを目的とした会員親睦交流会を去る7月25日、アンビックス函館倶楽部、スターボウル、ロワジールホテル函館においてそれぞれ開催しました。

日中に行われた第1部のゴルフコンペ、ボーリング大会では心配された雨もあがり、参加者全員がプレーを楽しみ、心地よい汗を流しました。

また、引き続き行われた第2部の懇親会では、高野会頭、森川副会頭にも参加をいただき、第1部の表彰式やテーブル対抗のゲーム大会が行われるなど、大いに盛り上がりを見せ盛会裡に終了しました。



▲盛り上がりを見せたテーブル対抗ゲーム大会

今後のうごき

8月	
15	(土) 鯨と食文化を語る市民の集い
18	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
19	(水) 金融個別相談
23	(日) 無料バス・電車運行日<駅前・大門行>
25	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
28	(金) 法律相談
31	(月) プレミアム商品券取扱店の募集が終了します。
9月	
1	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
3	(木) 第44回東北・北海道商工会議所連絡会議(盛岡市)
5	(土) 無料バス・電車運行日<本町・五稜郭・梁川行>
8	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
9	(水) 経営相談
13	(日) ・第67回全道珠算競技大会 ・無料バス・電車運行日<駅前・大門行>
14	(月) セミナー「お金をかけずに、ものも売らずに儲ける仕組み」
30	(水) プレミアム商品券の使用が終了します。
【7月31日現在】	

クールビズ実施中です!

本所では、9月30日までクールビズを実施しています。

会員皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

函館開港150周年記念プレミアム商品券 おかげさまで完売いたしました

○使用期限は平成21年9月30日(水)まで
ですので、忘れずにご利用下さい。



○プレミアム商品券取扱店を8月31日(月)まで引き続き募集しています。
ぜひご登録下さい。

中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に！

各種申込・お問い合わせは

函館商工会議所 TEL 0138-23-1181

銭亀沢支所

TEL 0138-58-3057

本年4月15日より マル経融資制度 拡充されました！

貸付対象 … 小規模事業者

対象資金 … 運転資金、設備資金

貸付限度額 … 1,000万円 → 1,500万円

貸付金利 … 1.9% (H21.7.30現在)

貸付期間 … ◆ 運転資金5年以内 → ◆ 運転資金7年以内
(据置期間6カ月以内) (据置期間1年以内)

◆ 設備資金7年以内 → ◆ 設備資金10年以内
(据置期間6カ月以内) (据置期間2年以内)

担保等 … 無担保・無保証人 (本人保証無し)

ご利用いただける方

- 常時使用する従業員が20人以下（商業・サービス業の場合は5人以下）の法人・個人事業主の方
- 商工会議所の経営指導員による経営指導を原則6ヵ月以上（会計整備の状況などに応じて経営指導員の判断により短縮できる場合があります。）受けている方
- 義務納税額（所得税、法人税、事業税、都道府県民税もしくは市町村民税）を完納している方
- 原則として同一地区で最近1年以上事業を行っている方
- 商工業者であり、かつ、日本政策金融公庫の融資対象業種を営んでいる方

★お問い合わせは、本所中小企業相談所まで TEL 23-1181

平成21年度 地域力連携拠点事業

本所では創業・事業承継・地域資源活用・農商工連携などの取り組みに対し支援する「地域力連携拠点事業」を行っております。専門家である応援コーディネーター2名が、定期的に窓口相談にあっております。ぜひご活用下さい。

☆応援コーディネーター 柳松和宏（社会保険労務士）
吉田 聡（税理士・中小企業診断士）

○ご相談・問い合わせはお気軽に 函館商工会議所・経営支援課 TEL 23-1181